

❖また、国内で開催される各 SC の行事等については、JNC のウェブサイトにて、随時、概要をご紹介します。  
<http://www.cigre.jp/>） どうぞ参照下さい。

## 6. その他

- ❖ CIGRE 本部の情報はこちらです。[\(https://www.cigre.org/\)](https://www.cigre.org/)
- ❖ e-cigre (オンラインライブラリ) [\(https://www.e-cigre.org/\)](https://www.e-cigre.org/) では、技術報告(TB:Technical Brochure)、技術論文(CSE:Cigre Science and Engineering)などのコンテンツの無料ダウンロードのほか、発行された TB の中にはウェビナー (全て英語) が提供されており、発表 PPT ファイルのダウンロード、動画視聴もできます。機関紙 Electra(<https://electra.cigre.org/>)も閲覧できます。どうぞ活用下さい。



CIGRE SC 国内分科会の構成

SC	研究委員会名	国内分科会委員長	
A1	Power Generation and lectromechanical Energy Conversion	長田 大	東芝エネルギーシステムズ
A2	Power Transformers and Reactors	山口 耕平	日立製作所
A3	Transmission and Distribution Equipment	内井 敏之	東芝エネルギーシステムズ
B1	Insulated Cables	眞尾 晶二	住友電気工業
B2	Overhead Lines	数藤 直彦	東北電力ネットワーク
B3	Substations and Electrical Installations	野口 真希	中部電力
B4	DC systems and Power Electronics	武智 正訓	東京電力パワーグリッド
B5	Protection and Automation	榎本 和宏	関西電力
C1	Power System Development and Economics	八巻 康一郎	東京電力パワーグリッド
C2	Power System Operation and Control	大澤 渉	関西電力
C3	Power System Sustainability and Environmental Performance	加藤 丈佳	名古屋大学
C4	Power System Technical Performance	北條 昌秀	徳島大学
C5	Electricity Markets and Regulation	田村 大介	中部電力パワーグリッド
C6	Active Distribution Systems and Distributed Energy Resources	八太 啓行	電力中央研究所
D1	Materials and Emerging Test Techniques	熊田 亜紀子	東京大学
D2	Information Systems and Telecommunicationand Cybersecurity	田部 龍彦	中国電力ネットワーク
C4	Power System Technical Performance	岡田 有功	電力中央研究所

日本 CIGRE 国内委員会事務局 お問い合わせ先 (10:00 ~ 17:00)

所在地	〒102-0076 東京都千代田区五番町 6-2 HOMAT HORIZON ビル 8 階 (一社)電気学会 気付
連絡先	TEL: 070-5465-1473
e-mail	office@cigre.jp
ウェブサイト	<a href="http://www.cigre.jp/">http://www.cigre.jp/</a>

(2024 年 4 月作成)

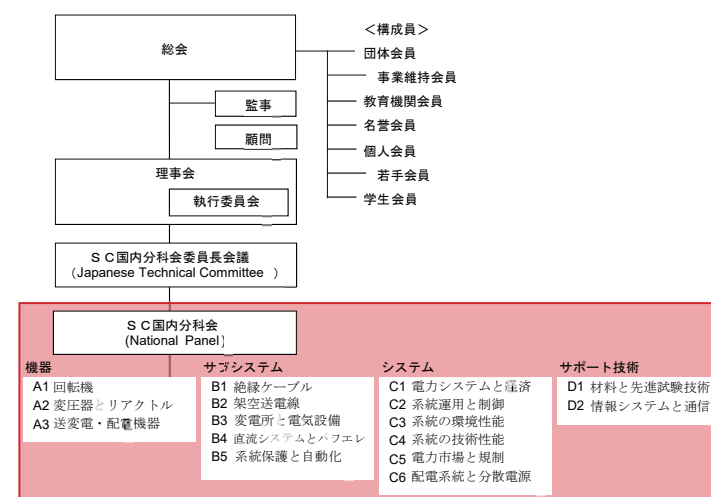
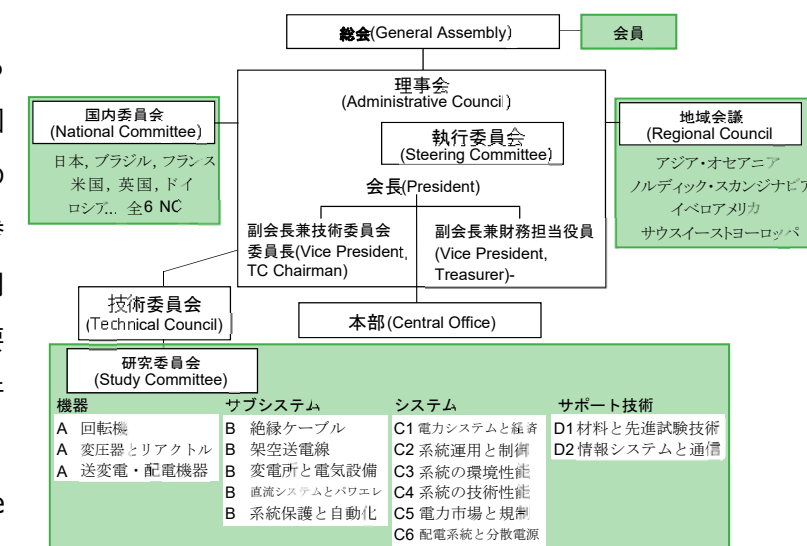


## 1. CIGRE 設立の経緯

- ❖ CIGRE (Conseil International des Grands Réseaux Électriques : 国際大電力システム会議) は 1921 年、フランス人 Jean T. Laspière 氏の提唱により設立されました。
- ❖ 電気事業が本格的に立ち上がった 20 世紀初頭、各国の技術者にとっては電力技術に関する共通定義を決めることが不可欠であり、1906 年に IEC (International Electrotechnical Commission : 国際電気標準会議) が設立され、用語の統一や規格制定についての検討を開始していました。
- ❖ 一方、電気事業を運営していく上では、規格制定に必要な検討とは異なり、機器の性能向上やメンテナンス等に関する課題も多く、それらに関する技術の実践方法について議論することや情報交換をすることも重要であったため、CIGRE が設立されました。
- ❖ このような背景もあり、CIGRE の活動には「IEC での規格化の前段階で技術的検討を深める」という意味合いも含まれています。CIGRE は、設立以来 100 年経過していますが、今日でも「Transmission & Distribution を扱う世界でも唯一の技術者集団」と位置づけられます。

## 2. CIGRE の組織

- ❖ CIGRE の活動を世界規模で推進するため、一定の要件を満たした国には「国内委員会」を設け、会員募集、会費の徴収、論文の選択と提出、パリ大会参加登録の取りまとめやシンポジウム開催に関する情報連絡など、運営に必要な一切の業務を「国内委員会」が代行する形をとっています。
- ❖ 日本では、日本 CIGRE 国内委員会(The Japanese National Committee of CIGRE, 略称 JNC)) の事務局が一般社団法人電気学会内に設置され、パリ本部と緊密な連携を取りながら、CIGRE の運営に当たっています。



JNC 委員長 岡本 浩 (東京電力 PG 副社長)

CIGRE は、脱炭素化・分散化・デジタル化など変革期にある電力システムの電力技術について、利害関係にとらわれずに検討を行う国際組織であり、各国専門家との国際的なネットワークを築く貴重な機会となります。皆様のご入会をお待ちしています。

### 3. CIGRE の活動

3-1. CIGRE 活動概要 : CIGRE の活動では、主に 2 つの方法で技術的な検討を深めています。

- ❖ 1 つ目は、会議などの会合の場を用いた検討です。論文を作成し、その記載内容に基づいて意見交換がなされます。会合には「パリ大会（西暦偶数年にパリで開催）」「シンポジウムやコロキウム（西暦奇数年に各地域で開催）」「地域会議（随時、国/地域レベルで開催）」があります。
- ❖ 2 つ目は、研究委員会（以下 SC）による検討です。SC は検討の結果をまとめて報告書を発行します。現在は 16 の SC が設置されています。各 SC では、各担当分野の技術的進歩に貢献できるよう、検討課題の設定や関連 SC との調整、検討の推進を行っています。更に特定のトピックスを研究するた



アジアの電力会社から初めて本部 SC 委員長に就任しました（2018 年 8 月～）。SC B3（変電所と電気設備）では、変電所のアセットマネジメントや、IoT・AI など新技術の適用を推進しています。会員の皆さんと一緒に日本の知見・実績を生かした CIGRE 活動に取り組んで参ります。

本部 SC B3 委員長  
川北 浩司（中部電力）

めにワーキンググループ(WG) やタスクフォース(TF)が編成されています。これらの活動には 1,000 名を越える専門家が参画しており、毎年 50 件程度の報告書を発行しています。

### 3-2. パリ大会 :

- ❖ 西暦偶数年には、パリにおいてすべての SC が集まった「パリ大会」が開催されます。パリ大会では、SC 毎に技術討論・意見交換（Group Session）、SC の運営に関する会合（Group Meeting）、各 SC 傘下の WG、TF の会合などが行われます。Group Session 全体では 500 件以上の論文について、意見交換がなされます。



2022 年パリ大会  
グループ会議の様子

### 3-3. シンポジウム・コロキウム・地域（Regional）会議 :

- ❖ 西暦奇数年には世界各国で、シンポジウムやコロキウム、地域会議などの会合が開かれています。
- ❖ 2001 年には、日本が中心になってアジア・オセアニア地域会議（AORC : Asia-Oceania Regional Council of CIGRE）を立ち上げました。このような地域活動は、AORC の他、ノルディック・スカンジナビア、イペロアメリカ等においても活発に行われています。
- ❖ 現在 AORC には、日本、オーストラリア、マレーシア、タイ、韓国、中国、インド、インドネシア、ニュージーランド、GCC（湾岸協力会議）、イラン、ヨルダンの 12 ヶ国が参加しています。

### 4. CIGRE の会員

- ❖ 第 2 項でご紹介したように会員募集、会費の徴収などは、JNC 事務局がパリ本部の業務を代行していますので、CIGRE の会員になるためには JNC 事務局に申し込みをいただく必要があります。
- ❖ 会員の期間は、毎年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの一年間ですが、新規の申し込みは随時受け付けています。
- ❖ 入会を希望される方は、下記 JNC ウェブサイトの会員募集ページにて登録をお願いいたします。後日会費の納入方法をご案内いたします。

《会員募集ページ》 <http://cigre.jp/join/index>

会員種別		特典 年会費 (2024 年 2 月現在)						
会員種別	対象	個人会員	若手会員(I)	若手会員(II)	団体会員	教育機関会員	事業維持会員	学生会員
英文呼称		Individual(I)		Individual(II)	Collective(I)	Collective(II)	Collective(I)	Student
特典	パリ大会参加費	割引	割引	割引	割引 (6名まで)	割引 (3名まで)	—	無料枠あり
	ダウンロード	無料	・ Technical Brochures ・ Electra ・ Colloquia Papers ・ Symposia Papers ・ Session Papers ・ Reference Papers ・ Working Group Reports など					
留意点	総会での議決権	あり	あり	なし	あり	あり	—	—
	年会費* (1/1~12/31)	¥12,000	¥6,000 (団体、事業維持、教育機関会員所属の方) ¥12,000 (上記以外の方)	無料	¥480,000	¥40,000	¥130,000	無料

\*7月以降のご入会は、次年度に自動継続（退会不可）で、初年度は無料になります

- ❖ 会員申し込みは、一旦、JNC 事務局でお預かりし、取りまとめてからパリ本部に送付いたしますので、E-mail にて会員証が送付されるまでしばらく時間がかかる場合もあります。予めご了解下さい。
- ❖ 会員証に記載されている会員番号は、ウェブサイトのメンバー領域へのアクセス、eCIGRE からのダウンロード、過去の CIGRE 出版物を会員価格で購入する際等に必要となりますので取扱いにご注意下さい。
- ❖ 年会費は、パリ本部が財政状況を踏まえ設定する年会費（ユーロ）をもとに、為替の動向等を勘案しながら、JNC 総会で都度決定されます。従いまして、適宜、見直される場合も有りますので、予めご承知おき下さい。

### 5. 国内での活動

- ❖ 日本国内には、パリ本部の 16 の SC に対応した「CIGRE SC 国内分科会」が設置されています。
- ❖ 実際の活動に参加いただくには、いずれかの SC において、活動の場を見つけていただくこととなります。次表に日本 CIGRE 国内分科会の構成を示しましたのでご活用下さい。JNC 事務局から各 SC に紹介することもできますので、お気軽にご相談下さい。
- ❖ JNC では毎年 2 月初旬に総会を開催し、前年度の事業及び会計の報告を行うとともに、その年度の事業計画及び経費予算、重要事項を会員にお諮りしています。また、総会に合わせて各分野の最新の技術動向・活動状況を紹介する技術フォーラムも開催しておりますので奮ってご参加下さい。
- ❖ 若手・学生会員および女性技術者の国際会議への積極的な参画の促進、情報共有や人的交流を図るため、日本 CIGRE で若手ネットワーク（NGN）、女性技術者ネットワーク（WiE）を組織しています。若手、女性の皆様の参加をお待ちしております。